

みのわだより

令和7年 1月発行 415号

verde

「verde」とは、ポルトガル語で「緑の」という意味です。



ベルジ箕輪

ベルジ株式会社 有料老人ホーム ベルジ箕輪
発行責任者 専務取締役 大久保健司
支配人 高木 正幸

〒370-3104 群馬県高崎市箕郷町上芝 839-4
Tel 027-371-6610 / Fax 027-371-6613
E-mail minowa@e-verde.co.jp
URL <http://www.e-verde.co.jp>

ホームページにてブログも更新しております。そちらも是非ご覧ください

12月の出来事

クリスマスにはケーキを食べる慣習になっている現在ですが、昨今は物価高騰によりケーキが纏うドレスも変わったなと思います。少し前までは純白フリフリイチゴがトレンドでした。

真っ白い無垢なケーキもそれはそれで。今は何事も自由が尊重される時代、まさに時代にあった変貌なのでしょうね。皆さまには、手に入りにくくなったスイスロールのケーキを懐かしみ美味しく楽しんでいただきました。

クリスマス

別館のクリスマス会は、職員によるクリスマスソングの余興。あわてんぼうのサンタクロース、赤鼻のトナカイやジングルベル、リズムが軽快で楽しい歌で、普段とは違う特別な時間を演出。高齢者にとって音楽療法がなす意味は、脳の活性化や心身に安定をもたらすリハビリテーションとしての役割があります。また季節を感じるイベントも同様の効果があります。クリスマスに馴染みの薄い世代ではあると思いますが、皆さまの活気漲る、そんなイベント行事が出来たら幸いと思っています。

新しいソファ

真新しいソファをロビーに置くと、すぐに皆さまのお気に入りの場所になりました。「座り心地がいいわよ」と皆さま。受付近くのソファでは、事務員と皆さまの女子トークに花が咲くことも。「ここにテーブルでも置いてお茶でも飲みたいわね」と皆さま。ご近所さんがやってきて、お茶を飲みながら世間話に花を咲かせる。「あがって、お茶でも飲んでいきなさいよ」と、招いて楽しまれていたのでしょう。皆さまの世代はそれが当たり前。厳しい時代の助け合い精神もあると思いますが、皆さまのコミュニケーション力は見習わねばと心改まります。



小春日和

関東は冬でも晴天の青空が眺められます。日本海側で生活されていた皆さまは、曇天のいつ何時にも雨が降りそうなそんな空模様、太陽が覗いても直ぐに雪が舞ったり雹が降ったりするのだとか。それが一番違うとおっしゃいます。冬の雷が轟かない代わりに、上州空っ風の冷たい風が吹きますが、空を眺める外気浴は皆さまに好まれます。「本当に良い天気ね」真っ青な空を眺めて冬の太陽を目一杯浴びます。「太陽様様ですね」



ハンドマッサージ

おらが町の箕郷町は空っ風吹きさらす、空気がカラッカラの日々。群馬の乾燥は特に悩まされることも屡々。あまりにも乾燥しているので、カランカランとサイレンを鳴らして消防車が火の用心を訴えます。そんな乾燥に負けぬよう、皆さまの手が白玉のごとく潤うようにワセリンやオイルで手や足のリンパマッサージ。パッキリ割れやヒビ割れ防止にと時折行っています「好い匂いね」手をそっと鼻に近づけた皆さま「今度は良い香りのするアロマオイルでやってみましょうね」職員の言葉に、ニッコっと少女のような微笑みを浮かべ「楽しみね」擦った手をまた鼻に近づけ匂いながら言いました。



お正月飾り

クリスマスが過ぎると、すぐにお正月の準備。キラキラしたクリスマスの飾りから、綺羅綺羅したお正月の装いに衣替え。年神様をお迎えする玄関飾りを皆さまにもお手伝いいただきました。赤や雅な色合いが華やかで美しいお正月。巳年の今年は金運にも縁起のいい白蛇様を皆さまが作ってくださいました。ちりめん細工の愛らしい縁起物、箕輪に素晴らしい幸運をもたらしてくださる優しいお顔の白蛇様に皆で合掌いたしました。



新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、お健やかに新たな年をお迎えのこととお喜び申し上げます。皆様方とともに新年を迎えることが出来たことは、ひとえにご入居者様、ご家族様皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。昨年末から大久保専務を迎え新体制となりました。ベルジ箕輪は、これまで以上、ご入居者様が豊かに暮らせるよう、またご家族様に寄り添い、ベルジ箕輪で良かったとお言葉をいただけるような施設を目指し、全職員一丸となり努めてまいります。本年もより一層のご支援ご鞭撻を宜しくお願い致します。

お知らせ

マイナンバーカード

支配人 高木正幸

現在、皆様の健康保険証(後期高齢者医療被保険者証)はホームにて大切にお預かりさせていただいておりますが、マイナ保険証についてはホームでのお預かりはせず、「資格確認書」をお預かりさせていただきます。マイナ保険証の取得有無によって資格確認書の交付申請が変わります。別送しております郵便をご確認ください。

編集後記

招き猫ならぬ保護猫が我が家には10匹を超えた昨年、きっかけは血まみれの猫が愛らしい声で助けを求めて来たことでした。顔面に流血しながら後ろに隠すように雌猫を庇い、目が合った私に小さな声で「ニャー」と声を上げました。俄然大派の私はその頃は猫が怖く、触ることさえ出来ませんでした。けれど、猫をそのままに出来ず、せめて何か食べられるものをとドックフードをお皿に乗せ差し出しました。すると後ろに控えていた雌猫にそのご飯を食べるように流血の猫は後ずさりし、後ろで見守っていたのです。私はその姿に胸がギュッと締め付けられました。空になった皿にお替りをのせ目の前に置いてやると猫はガツガツと食べ何処かにいきました。良いことをした気分になっていた私は痩せこけ流血した猫が来る度、高級なドックフードを猫に分けてあげました。なのに猫はどんどん痩せていき、やがて雌猫しか来なくなりました。その時の私はドックフードが猫にとって毒となるなど考えもしなかった。助けるつもりが命を奪ってしまったのかも知れない、今でも後悔の念が消えることはありません。人は失敗をします、時にはそれが成長へと繋がることがあります、ですが無知は罪だとその時に学びました。時を戻し、やり直せたらと思う事ばかりですが、今は違うと胸を張れる自分でありたいと念頭に思いを新たにしました。

編集担当：須藤